



## 校長室の窓辺より

### 学習の成果発表会



2月の前半は、5年生をかわきりに各学年で授業参観及び学年部会が行われました。中でも、1年最後の授業参観となった今回。各学年で特徴的な授業が多数、展開されました。

1年生はクラス毎に、「1年生をふりかえって」と題し、一人一人の発表が行われました。

2年生は体育館を会場に学年全体で実施。「学習成果発表会」を行いました。ここでは、朗読劇やかけ算の発表といった「学問系」の発表から、跳び箱、鉄棒、マット運動、縄跳び、ボール投げといった「運動系」の発表まで、色々な分野での発表が行われました。

3年生はクラス毎に、総合的な学習に絡め、各々「学校で自慢したいところ」の発表を行いました。ここでは、各自がお気に入りの場所を写真に撮り、その画像を大型提示装置に示しながら発表しました。

4年生は恒例の「10才を祝う会」を体育館で行いました。ここでは、サプライズで、各保護者様からお子様へのメッセージの朗読がありました。子どもたちには分からぬよう、事前に担任から保護者の皆様方に依頼をさせて頂き実現した、感動的な取組でした。

5年生は算数の授業を公開しました。「割合をグラフに表して調べよう」という学習で、まさしく日常生活で日々触れるグラフを読み取ったり、解釈したりする学習でした。

6年生は、小学校生活最後の授業参観の機会を活用して、保護者様に感謝の気持ちを伝える「感謝の会」を行いました。ここでは、個々の成長を振り返るスライドショーに始まり、家庭科で作成したクッションにメッセージを添えたプレゼントを贈呈。そして合唱という内容でした。

このような、授業参観に触れて“今、求められる学力”について考えました。読み・書き・計算は、言わずもがな、不易の学力です。一方、各学年の授業に見られる「発表する力」については、今まさに求められ、今後益々重視される「力」だと捉えています。故に、各学年とも、その今日的課題に真正面から取り組んだ授業であったと評価しました。

一方で、私が特に注目した・したい学力は、4年生、6年生が育成を目指した「人に感謝する心」という学力です。確かに、読み・書き・計算は、人が生活する上で、基本中の基本に位置づけられる学力であることは間違いありません。しかし、とかく個が重視される世の中であるからこそ、集団生活を快適に過ごす上での潤滑油となる「感謝する心」は非常に重要であると同時に、意図的・計画的に育てていかなければならない学力だと考えます。4年生の会に於いても、6年生の会に於いても、お子様のメッセージ朗読に目頭を押さえられる保護者様の姿が、多数見受けられました。子どもたちは、保護者様の感動する姿に触れ、親子の絆を一層強めたことと思います。

本校はめざす子ども像として、豊かな心を持ち人を思いやることができる子、いわば「やさしい子」の育成を目指しています。今後とも、このやさしい心を持った子どもの育成に継続的に取り組んでいきたいと思っています。



【裏面も御覧ください】

## 第1話 人の話を「聞く力」をもった子どもたち



昨日、外出しようとして職員玄関に向かったところ、そこにある姿見（すがたみ）を見ながらダンスをする女兒たちに声を掛けられました。「校長先生、レベル5の声って、どんな声の大きさですか」と。この話には伏線がありまして、前日のお昼の放送で、私が南甲府警察署から「感謝状」を頂いた報告（←2月4日付けblog）の内容がベースとなっています。この内容とは、「参加者の皆さんは皆大人の方々でしたが、名前を呼ばれると3レベルの声の大きさで『ハイ』と応え、起立をしていました。そこで私は、小学校の校長先生なので、5レベルの声で『ハイ』と応え起立しました」といった内容です。

食事の放送なのに、そこまでしっかりと聞いてくれたのかと感激した私は即、その女兒2人に「えっ！しっかりと聞いてくれたの」と問い返してしまいました。するとその女兒たち、何て答えたと思いますか？女兒たちは表情を変えることなく「当然です。いつもしっかりと聞いていますよ」と答えたのでした。岸田前総理は御自身の優れた力として「人の話を聞く力」を挙げられました。学校は、成長過程の子どもたちに、豊かな人生を歩んでいく上で必要な能力を子どもに育みます。「人の話をしっかりと聞く力」また「聞くことができる力」は人の「生きる力」を支える中核的な力だと思います。実は、自校の子どもを自慢するは少々恥ずかしいのですが、押小の子どもたちは人の話を聞くことがよくできます。全校集会や防災訓練の時など、私が話をしているとき、おしゃべりをする子はほぼいません。全校で集まるときに、教務主任の杉山先生からもよく誉められます。押小の子どもたちは、人の話を聞く耳をしっかりと持っています。私がこの女兒たちを誉めたのは言うまでもないことですが、加えて誉めたことがあります。それは、人の話を聞けるのは、その人が「素直な心」を持っているからだ、ということです。本校の子どもたちは皆「素直な心」を持っていますが、この女兒たちはその代表格だということです。横田ひなきさん、宮下りるはさん。卒業しても、ずっと、「人の話をきける力」と「素直な心」大切にしてください。誠に立派！！

## 第2話 「善行」！これぞ、押杜っ子！！！！

朝の登校指導を終え、職員玄関に出向く途中、私はとある女兒に声を掛けられました。「校長先生、あのね、昨日の帰り道6年生が、田んぼに散らばった空き缶を拾い集めていました」と知らせてくれたのでした（←「石を投げ合いよそのお宅のガラスを割った」だの「犬をいじめていた」などといった苦情は受けたことがあります、このような報告、しかも年下の子供からの報告ははじめてでした）。早速、校内放送で名乗り出るように伝えたところ、6年生の手伝いをしたという4年生も出てきました。実はこの子どもたち、毎日通る通学路脇の田んぼに散らばる空き缶（←私も現認しているのですが、ほぼビールの缶。飲み散らかしたと思われる状態）に日々心を痛め、ついに見かねて集めたというのが事実のようです。田中りゅうむさん、長阪えいまさん、名取りんたろうさん、荻野ななさん、佐久間しずくさん、矢崎ゆいとさん。誠に立派でした。



### 3月の主な予定

1日(土)	AM 合唱部練習	21日(金)	給食終了
2日(日)	AM 合唱部練習	24日(月)	修了式
3日(月)	第3回賞状伝達式	25日(火)	学年末休業日開始
7日(金)	地区集会	26日(水)	離任式
8日(土)	合唱部卒業コンサート13:00-	春休み	3月25日～4月6日(日)
13日(木)	卒業式総練習	4月7日(月)	新任式・始業式
18日(火)	卒業式前日準備	8日(火)	入学式
19日(水)	第140回卒業式		
20日(木)	春分の日		

\*詳細は学年だより等で、御確認ください。

【裏面も御覧ください】